



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社リログループ 上場取引所 東
コード番号 8876 URL <https://www.relo.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役CEO （氏名）中村 謙一
問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO兼CIO （氏名）門田 康 （TEL） 03-5312-8704
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	38,959	9.0	7,174	11.8	7,519	17.1	5,228	18.4
2026年3月期第1四半期	35,745	3.2	6,415	△9.0	6,420	△75.5	4,414	△81.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	34.48	33.26
2026年3月期第1四半期	29.50	27.97

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	316,457	80,345	78,273	24.7
2026年3月期	324,288	86,579	84,568	26.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	69.00	69.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	34.50	—	40.50	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	165,000	9.2	34,000	10.3	33,600	8.6	22,500	8.9 148.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	153,016,200株	2026年3月期	153,016,200株
2027年3月期1Q	1,312,285株	2026年3月期	1,557,885株
2027年3月期1Q	151,646,250株	2026年3月期1Q	149,670,185株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、日本企業の海外進出が活発化し、企業のグローバルな競争が激化する環境下において、「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」、「真のサムライパワーを発揮できるよう、日本企業の世界展開を支援すること」、また、これらの活動を通じ、「これから始まる日本の大転換になくはならない存在になる」という使命のもと、「世界規模で展開する『生活総合支援サービス産業』の創出」というビジョンを掲げており、そのビジョン実現に向けて、2026年3月期を初年度とする4カ年の中期経営計画「第四次オリンピック作戦」を策定、始動いたしました。第四次オリンピック作戦においては、特に重点的に取り組むべき3つの社会的課題として、「人材投資」、「労働力不足」、「シニア・相続」の3領域を起点とし、既存事業の深化、新規事業の創出、及びこれらを支える戦略的投資を一体的に推進してまいります。B to B領域のアウトソーシング事業においては、深刻化する労働力不足への対応策として、日本企業の生産性向上及び福利厚生者の充実支援を一層拡大してまいります。また、B to C領域における賃貸管理事業及び観光事業においては、地方創生及び拡大するインバウンド需要への対応を通じて、地域経済への貢献と事業承継の推進を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間は、借上社宅管理事業や賃貸管理事業における管理戸数などのストック基盤が堅調に積み上がり、増収増益となりました。

なお、2026年5月14日付で公表した「2027年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の買入りに係る事項の決定に関するお知らせ」に伴い、金融収益として3億42百万円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりです。

売上収益	389億59百万円	(前年同期比 9.0%増)
営業利益	71億74百万円	(前年同期比 11.8%増)
税引前四半期利益	75億19百万円	(前年同期比 17.1%増)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	52億28百万円	(前年同期比 18.4%増)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

① アウトソーシング事業

当事業は、福利厚生事業、借上社宅管理事業、海外赴任支援事業で構成され、B to B領域のアウトソーシング事業を展開しております。福利厚生事業においては、企業の業務負担とコストを軽減し様々なコンテンツを従業員へ提供する福利厚生代行サービスや、提携企業向けに顧客特典代行サービス等を提供しているほか、住まいの駆け付けサービスを手掛け、顧客会員の生活を総合的にサポートしております。借上社宅管理事業においては、借上社宅管理を中心に物件検索等による転居支援、留守宅管理等を手掛けております。また、海外赴任支援事業においては、日本企業の駐在員を中心に、赴任前から帰任に至るまで、海外赴任サポート等のサービスを総合的に展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、福利厚生代行サービスにおける利用関連収入が伸長したほか、借上社宅管理事業の管理戸数が前年同期を上回ったことで、管理手数料収入や物件検索等による転居支援サービスの利用件数が増加したことなどから増収増益となりました。

これらの結果、売上収益221億64百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益62億60百万円（同11.4%増）となりました。

② 賃貸管理事業

当事業は、「リロの賃貸」のもと、不動産オーナー向けに賃貸管理を中心としたサービスを展開しております。また、賃貸仲介や修繕・リフォーム工事など、管理業務に付随する幅広いサービスをワンストップで提供しており、全国規模のネットワークを活かした豊富な情報量と多様なサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間は、管理戸数が前年同期を上回り、ストック基盤が堅調に積み上がったことに加え、物件売却等により増収増益となりました。

これらの結果、売上収益130億9百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益15億93百万円（同22.0%増）となりました。

③ 観光事業

当事業は、福利厚生事業の会員基盤や企業の保養所をはじめとした地方の中小型のホテル、旅館の運営ノウハウを活用し、ホテル運営事業と別荘のタイムシェア事業を展開するほか、後継者問題を抱えるホテル、旅館の再生にも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、ゴールデンウィーク期間を中心に宿泊需要は堅調に推移したものの、天候不良等の影響により減収となりました。一方で、DX推進による業務効率化やコストコントロールの徹底により販管費を抑制した結果、増益となりました。

これらの結果、売上収益36億51百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益5億円（同5.1%増）となりました。

④ その他

当事業は、主力事業の基盤を活かし金融関連事業等を展開しており、売上収益1億34百万円（前年同期比54.8%減）、営業損失85百万円（前年同期は78百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比して78億30百万円減少し、3,164億57百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比して15億96百万円減少し、2,361億12百万円となりました。

資本合計は、前連結会計年度末に比して62億33百万円減少し、803億45百万円となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比して79億92百万円減少し、554億5百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は下記のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、105億74百万円（前年同期比30億47百万円増）となりました。税引前四半期利益75億19百万円、減価償却費及び償却費49億59百万円、営業債権及びその他の債権の増減額59億60百万円を計上したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、46億90百万円（前年同期比17億67百万円増）となりました。投資不動産の取得による支出21億9百万円、有形固定資産の取得による支出13億23百万円を計上したことが主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、140億18百万円（前年同期比48億73百万円増）となりました。社債の償還による支出240億86百万円、配当金の支払額103億56百万円を計上した一方、長期借入れによる収入248億9百万円を計上したことが主な要因です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、想定通りに推移しており、2026年5月14日に発表した「2026年3月期決算短信」に記載の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	63,398	55,405
営業債権及びその他の債権	101,215	95,572
棚卸資産	9,057	10,083
その他の金融資産	1,672	1,668
その他の流動資産	5,001	5,309
流動資産合計	180,345	168,039
非流動資産		
有形固定資産	19,798	21,042
使用権資産	34,617	34,593
のれん	17,088	18,584
無形資産	9,454	9,459
投資不動産	22,360	23,246
持分法で会計処理されている投資	2,317	2,252
その他の金融資産	26,216	26,791
繰延税金資産	10,928	11,215
その他の非流動資産	1,160	1,233
非流動資産合計	143,943	148,418
資産合計	324,288	316,457

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	74,687	76,699
社債及び借入金	12,088	14,704
リース負債	10,300	11,007
未払法人所得税	4,673	2,631
契約負債	9,704	9,904
その他の金融負債	19,480	20,319
引当金	436	—
その他の流動負債	5,275	4,465
流動負債合計	136,647	139,732
非流動負債		
社債及び借入金	38,547	34,197
リース負債	21,833	20,971
契約負債	16,152	16,273
その他の金融負債	12,004	12,230
引当金	10,610	10,770
繰延税金負債	1,091	1,078
その他の非流動負債	820	858
非流動負債合計	101,061	96,379
負債合計	237,709	236,112
資本		
資本金	2,667	2,667
資本剰余金	257	420
利益剰余金	77,418	72,182
自己株式	△2,533	△2,104
その他の資本の構成要素	6,759	5,107
親会社の所有者に帰属する持分合計	84,568	78,273
非支配持分	2,010	2,071
資本合計	86,579	80,345
負債及び資本合計	324,288	316,457

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	35,745	38,959
売上原価	19,175	20,995
売上総利益	16,569	17,964
販売費及び一般管理費	10,361	11,139
その他の収益	263	381
その他の費用	55	31
営業利益	6,415	7,174
金融収益	130	481
金融費用	170	196
持分法による投資損益	43	60
税引前四半期利益	6,420	7,519
法人所得税費用	1,931	2,222
四半期利益	4,489	5,297
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,414	5,228
非支配持分	74	69
四半期利益	4,489	5,297
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	29.50	34.48
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	27.97	33.26

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	4,489	5,297
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて	△138	△18
公正価値で測定する資本性金融資産		
項目合計	△138	△18
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△450	269
持分法適用会社における	—	1
その他の包括利益に対する持分		
項目合計	△450	271
その他の包括利益合計	△588	252
四半期包括利益	3,900	5,550
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,824	5,469
非支配持分	75	80
四半期包括利益	3,900	5,550

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2025年4月1日残高	2,667	555	63,010	△5,551	7,517	68,198	2,314	70,512
四半期利益	—	—	4,414	—	—	4,414	74	4,489
その他の包括利益	—	—	—	—	△590	△590	1	△588
四半期包括利益	—	—	4,414	—	△590	3,824	75	3,900
配当金	—	—	△6,287	—	—	△6,287	△81	△6,368
株式に基づく報酬取引	—	58	—	—	△72	△13	—	△13
支配継続子会社に 対する持分変動	—	3	—	—	—	3	△4	△1
その他	—	—	—	—	—	—	△0	△0
所有者との 取引額等合計	—	61	△6,287	—	△72	△6,297	△87	△6,384
2025年6月30日残高	2,667	617	61,138	△5,551	6,854	65,725	2,302	68,028

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2026年4月1日残高	2,667	257	77,418	△2,533	6,759	84,568	2,010	86,579
四半期利益	—	—	5,228	—	—	5,228	69	5,297
その他の包括利益	—	—	—	—	241	241	11	252
四半期包括利益	—	—	5,228	—	241	5,469	80	5,550
自己株式の処分	—	129	—	429	△558	0	—	0
配当金	—	—	△10,451	—	—	△10,451	△79	△10,531
株式に基づく報酬取引	—	85	—	—	58	144	—	144
転換社債型新株予約権付 社債の償還	—	51	—	—	△1,405	△1,353	—	△1,353
その他	—	△103	△11	—	11	△103	59	△44
所有者との 取引額等合計	—	163	△10,463	429	△1,893	△11,764	△20	△11,784
2026年6月30日残高	2,667	420	72,182	△2,104	5,107	78,273	2,071	80,345

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,420	7,519
減価償却費及び償却費	4,514	4,959
金融収益及び金融費用	90	127
持分法による投資損益(△は益)	△43	△60
固定資産売却損益(△は益)	△142	△167
棚卸資産の増減額(△は増加)	△593	△1,025
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	2,419	5,960
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,083	1,617
事業用リース負債の減少	△2,211	△2,456
その他	△2,237	△1,552
小計	12,299	14,923
利息及び配当金の受取額	149	182
利息の支払額	△133	△183
法人所得税の支払額	△4,788	△4,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,526	10,574
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△784	△1,323
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形資産の取得による支出	△617	△545
投資不動産の取得による支出	△1,818	△2,109
投資不動産の売却による収入	864	1,269
投資有価証券の取得による支出	△0	△50
子会社の取得による支出	△263	△638
貸付けによる支出	△171	△508
その他	△131	△783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,922	△4,690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△560	△1,485
長期借入れによる収入	100	24,809
長期借入金の返済による支出	△1,783	△2,240
社債の償還による支出	△28	△24,086
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△6,223	△10,356
非支配持分への配当金の支払額	△73	△79
その他	△575	△579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,145	△14,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	△266	142
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,806	△7,992
現金及び現金同等物の期首残高	64,021	63,398
売却目的で保有する資産に 含まれる現金及び現金同等物	△185	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,028	55,405

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、住宅分野とレジャー・ライフサポート分野の双方にまたがる企業福利厚生のアウトソーシングサービスを主力事業とし、その事業基盤を活かして賃貸管理事業やホテル運営事業なども展開しております。

各事業の概要は下記のとおりです。

アウトソーシング事業：福利厚生代行サービス、顧客特典代行サービス、住まいの駆け付けサービス、借上社宅管理業務アウトソーシングサービス、海外赴任サポート、インバウンドサポート、駐在員規定・処遇コンサルティング等

賃貸管理事業：賃貸管理・工事、不動産仲介、不動産売買等

観光事業：別荘のタイムシェア事業、ホテル運営事業等

(2) 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	アウトソーシング事業	賃貸管理事業	観光事業	計
売上収益				
外部顧客への売上収益	19,970	11,821	3,654	35,446
セグメント間の売上収益	130	76	17	224
計	20,101	11,897	3,672	35,671
セグメント利益又は損失（△）	5,619	1,305	475	7,401

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計上額
売上収益				
外部顧客への売上収益	298	35,745	—	35,745
セグメント間の売上収益	63	288	△288	—
計	362	36,033	△288	35,745
セグメント利益又は損失（△）	△78	7,322	△907	6,415

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり金融関連事業等です。

2. セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去及び全社費用によるものです。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	アウト ソーシング事業	賃貸管理事業	観光事業	計
売上収益				
外部顧客への売上収益	22,164	13,009	3,651	38,825
セグメント間の売上収益	156	45	29	232
計	22,321	13,055	3,681	39,057
セグメント利益又は損失(△)	6,260	1,593	500	8,353

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計上額
売上収益				
外部顧客への売上収益	134	38,959	—	38,959
セグメント間の売上収益	67	299	△299	—
計	202	39,259	△299	38,959
セグメント利益又は損失(△)	△85	8,267	△1,092	7,174

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり金融関連事業等です。

2. セグメント間の売上収益及びセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去及び全社費用によるものです。

営業利益から税引前四半期利益への調整表

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業利益	6,415	7,174
金融収益	130	481
金融費用	170	196
持分法による投資損益	43	60
税引前四半期利益	6,420	7,519